

(案)

第四次国有林野施業実施計画書

(上川南部森林計画区)

計画期間

自 平成26年4月 1日

至 平成31年3月31日

策定年月日：平成26年3月 日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	9
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	12
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	15
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	16
	(2) フィールドの提供	19
	(3) 森林共同施業団地	20

別表 保護林及び緑の回廊・レクリエーションの森等の箇所別一覧表

保護林

緑の回廊

レクリエーションの森

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプ

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	1,818	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	—	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	2,146	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	41,129	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	75,422	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	18,972	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	139,488			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	140	0	402	6,855	12,570	3,162

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林			地		林地以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	1,071	(704) 17,000	18,071				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	622	(166) 2,479	3,101				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(479) 6,537	17,721	24,258			
	長期単層林	-	-	-			
	複層林	(463) 18,522	21,494	40,016			
	混交林	(6,753) 9,147	239,687	248,834			
	育成天然林	176	-	176			
	天然生林	-	-	-			
	計	(7,695) 34,382	278,902	313,284			
合計	36,075	(8,565) 298,381	334,456	68,000	402,456	-	402,456
年平均	7,215	(1,713) 59,676	66,891	13,600	80,491	-	80,491

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、h a)

市町村名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量 計		
旭 川 市	(12) 1,556	(332) 10,521	12,077			
鷹 栖 町	-	(11) 216	216			
当 麻 町	-	-	-			
比 布 町	(4) 286	(31) 750	1,036			
愛 別 町	(73) 2,748	(1,491) 46,381	49,129			
上 川 町	(20) 3,828	(1,982) 37,845	41,673			
東 川 町	-	-	-			
美 瑛 町	(205) 14,912	(1,174) 43,727	58,639			
富 良 野 市	(12) 622	(252) 8,574	9,196			
上 富 良 野 町	(34) 2,713	(450) 15,806	18,519			
南 富 良 野 町	(96) 6,705	(1,214) 47,514	54,219			
占 冠 村	(23) 2,705	(1,629) 87,047	89,752			
合 計	(478) 36,075	(8,565) 298,381	334,456			

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(h a)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	-	-	-	-	15	15
	複層林造成	8	-	-	-	146	154
	計	8	-	-	-	161	169
天然更新	天然下種第1類	-	-	7	-	203	210
	天然下種第2類	-	-	-	-	117	117
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	7	-	320	327
合 計		8	-	7	-	481	496

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	107	-	32	-	4,719	4,858
	つる切り	77	-	2	-	79	158
	除伐	51	-	1	-	53	105

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
上川中部森林管理署						
その他	開設	盤水沢支線	272~274	1,800		旭川市
		鉱山	220~222, 225	8,500		旭川市
		蘭留	1	600		比布町
		パンケ左岸	20, 21	3,300		愛別町
		パンケニの沢支線	17, 18	2,000		愛別町
		協和左2号	13	2,000		愛別町
		冷泉沢左股	26, 27	2,500		愛別町
		狩布	53, 58	1,800		愛別町
		牧場上	58	600		愛別町
		旭山1の沢分線	47	1,500		愛別町
		宮の沢	38	1,500		愛別町
		老根内山	63	2,000		愛別町
		ポンガ左沢1号	45	1,200		愛別町
		パンケニの沢	18	1,200		愛別町
		滝口沢	2056~2058	3,000		上川町
		シビナイ連絡	2062, 2064	2,500		上川町
		清水沢	2124	2,000		上川町
		古川中央	2141~2144	4,000		上川町
		ルベシベ	1015	1,000		美瑛町
		美園支線	1021	1,000		美瑛町
		辺別川	1022, 1023	2,000		美瑛町
		大椈沢	1041, 1043, 1044	3,000		美瑛町
		大椈連絡	1041, 1042	3,000		美瑛町
		大椈	1041	2,000		美瑛町
		大椈支線	1041, 1043	2,500		美瑛町
		大椈山	1043	1,000		美瑛町
		宇莫別	1047~1049	3,500		美瑛町
計		27 路線		61,000		
基幹	改良	雨紛越	225	50	1	旭川市、溝渠工
		雨紛	240	50	1	旭川市、擁壁工
		八線沢	49	30	1	愛別町、橋梁工
		徳三郎	2104	50	1	上川町、擁壁工
		ルベシナイ	2259, 2260	80	2	上川町、溝渠工
		迷沢	2271	40	1	上川町、擁壁工・溝渠工
		由仁石狩	2282, 2286, 2287	300	5	上川町、橋梁工 ・擁壁工・溝渠工
		霞城	1009	50	1	美瑛町、擁壁工
		上俵真布	1050	40	2	美瑛町、溝渠工
計		9 路線		690	15	
その他	改良	ニセチャロマップ	2245	50	1	上川町、落石防止工
		カルシュナイ	2249	50	1	上川町、擁壁工
		ボン由仁石狩	2286	150	3	上川町、擁壁工・溝渠工
		台地	1050	50	1	美瑛町、溝渠工
		大椈	1040	20	1	美瑛町、擁壁工・落石防止工
計		5 路線		320	7	
上川中部森林管理署合計						
開設	基幹	- 路線		-		
	その他	27 路線		61,000		
	計	27 路線		61,000		
改良	基幹	9 路線		690	15	
	その他	5 路線		320	7	
	計	14 路線		1,010	22	

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
上川南部森林管理署						
その他	開設	山部川	383, 384	1,000		富良野市
		フラヌイ第3	428	500		上富良野町
		フラヌイ第5	428	500		上富良野町
		石灰左股	1079~1082	1,500		南富良野町
		両国	137	1,500		南富良野町
		両国1号	138, 141	2,100		南富良野町
		藤松	1067	3,000		南富良野町
		迷沢	124	900		南富良野町
		浅野	2, 3	1,700		南富良野町
		八戸沢右線	227	1,500		占冠村
		八戸沢	227, 228	1,800		占冠村
		ポン双右5号	1247, 1250	1,000		占冠村
		ペンケシュール3号	1128	2,300		占冠村
		ニナン左線	216	1,000		占冠村
		元春右1号	243, 1136	3,000		占冠村
計		15 路線		23,300		
基幹	改良	森田の沢	1012~1015	24	1	南富良野町、橋梁工
		富士循環	29, 54~61	50	3	南富良野町、溝渠工
		金山	1035, 1036, 1060, 1061	120	3	南富良野町、擁壁工
		ペンケニニウ	1103~1106, 1210, 1211	60	1	占冠村、擁壁工
		ユワベツ	1131, 1132	95	4	占冠村、溝渠工
		ポントナム	235~237, 239, 240, 243	80	2	占冠村、擁壁工・溝渠工
		三点沢	1141	40	1	占冠村、擁壁工
		双珠別	225, 246, 252, 1221, 1223 1225, 1226, 1228~1230 1232, 1241, 1244, 1245	150	3	占冠村 擁壁工・溝渠工
計		8 路線		619	18	
その他	改良	山部川	383	40	1	富良野市、擁壁工
		オンコノ沢	121	50	1	南富良野町、擁壁工
		ペンケ仁々宇支流	1212	40	1	占冠村、溝渠工
		一休の沢	11, 115, 141	100	4	占冠村、擁壁工
		二線沢	1209	70	2	占冠村、擁壁工
		ペンケシュール	1127~1129	80	3	占冠村、溝渠工
		無名沢	1131, 1134	70	2	占冠村、擁壁工・溝渠工
		計		7 路線		450
上川南部森林管理署合計						
開設	基幹	- 路線		-		
	その他	15 路線		23,300		
	計	15 路線		23,300		
改良	基幹	8 路線		619	18	
	その他	7 路線		450	14	
	計	15 路線		1,069	32	
森林計画区合計						
開設	基幹	- 路線		-		
	その他	42 路線		84,300		
	計	42 路線		84,300		
改良	基幹	17 路線		1,309	33	
	その他	12 路線		770	21	
	計	29 路線		2,079	54	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
上川中部森林管理署				
2001林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2063林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2102林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2134林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2139林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2201林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2218林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2289林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2321林班	保全施設	溪間工	1箇所	上川町
2340林班	保全施設	溪間工	10箇所	上川町
1071～1072林班	保全施設	溪間工	30箇所	美瑛町
2340林班	保全施設	山腹工	4箇所	上川町
2258～2260林班	保安林の整備	本数調整伐	100 ha	上川町
2242～2286林班	保安林の整備	本数調整伐	100 ha	上川町
2289～2339林班	保安林の整備	本数調整伐	100 ha	上川町
1072林班	保安林の整備	本数調整伐	20 ha	美瑛町
上川中部森林管理署計	保全施設	溪間工	49箇所	
		山腹工	4箇所	
		計	53箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	320 ha	
		計	320 ha	

位置	区分	工種	計画量	備考
上川南部森林管理署				
338林班	保全施設	溪間工	1箇所	富良野市
362・363林班	保全施設	溪間工	1箇所	富良野市
376林班	保全施設	溪間工	1箇所	富良野市
1011・1012林班	保全施設	溪間工	1箇所	南富良野町
1065林班	保全施設	溪間工	1箇所	南富良野町
1074～1076林班	保全施設	溪間工	2箇所	南富良野町
1084・1085・1088・1089林班	保全施設	溪間工	2箇所	南富良野町
1114林班	保全施設	溪間工	1箇所	占冠村
1117林班	保全施設	溪間工	1箇所	占冠村
1248林班	保全施設	溪間工	2箇所	占冠村
1254林班	保全施設	溪間工	1箇所	占冠村
1257林班	保全施設	溪間工	1箇所	占冠村
1068林班	保全施設	山腹工	1箇所	南富良野町
1253林班	保全施設	山腹工	1箇所	占冠村
1261林班	保全施設	山腹工	1箇所	占冠村
1262林班	保全施設	山腹工	1箇所	占冠村
54林班	保安林の整備	本数調整伐	7 ha	南富良野町
132林班	保安林の整備	本数調整伐	2 ha	南富良野町
135林班	保安林の整備	本数調整伐	1 ha	南富良野町
136林班	保安林の整備	本数調整伐	14 ha	南富良野町
137林班	保安林の整備	本数調整伐	15 ha	南富良野町
149林班	保安林の整備	本数調整伐	5 ha	南富良野町
155林班	保安林の整備	本数調整伐	9 ha	南富良野町
159林班	保安林の整備	本数調整伐	6 ha	南富良野町
1212林班	保安林の整備	本数調整伐	18 ha	占冠村
1213林班	保安林の整備	本数調整伐	13 ha	占冠村
上川南部森林管理署計	保全施設	溪間工	15箇所	
		山腹工	4箇所	
		計	19箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	90 ha	
		計	90 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	64箇所	
		山腹工	8箇所	
		計	72箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	410 ha	
		計	410 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	上川中部森林管理署				
	大雪山森林生態系保護地域	既設	36,698.01	別表参照	エゾマツ・トドマツの北方常緑針葉樹をはじめとする多様な森林群落が原生的状態で、大規模なまとまりをもって存する当該地域の森林を保護することにより、森林生態系を中心とした自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに資することを目的とする。
	(保存地区)		24,204.02		
	(保全利用地区)		12,493.99		
	計		36,698.01		
	上川南部森林管理署				
	大雪山森林生態系保護地域	既設	9,335.97	別表参照	エゾマツ・トドマツの北方常緑針葉樹をはじめとする多様な森林群落が原生的状態で、大規模なまとまりをもって存する当該地域の森林を保護することにより、森林生態系を中心とした自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに資することを目的とする。
	(保存地区)		3,964.70		
	(保全利用地区)		5,371.27		
	計		9,335.97		
日高山脈森林生態系保護地域	既設	581.94	別表参照	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに資することを目的とする。	
(保全利用地区)		581.94			
森林計画区計	2箇所	46,615.92			
(保存地区)		28,168.72			
(保全利用地区)		18,447.20			
林木遺産	上川中部森林管理署				
	旭川ダケカンバ15	H1既設	35.34	2072ろ	上川地区に群生するダケカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			20.00	2078に	
	計		55.34		
	旭川エゾマツ16	H1既設	12.66	2291い	上川地区に群生するエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			57.09	2292い	
	計		69.75		
	旭川シロエゾマツ17	H1既設	1.90	2321こ	上川地区に群生するシロエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川カツラ、オニグルミ18	H1既設	14.36	288い	神居古潭地区に群生するカツラ、オニグルミを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川チョウセンカラマツ20	H2既設	8.73	141へ	鷹栖地区に植栽したチョウセンカラマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			1.01	142い	
	計		9.74		
	旭川ウダイカンバ22	H2既設	5.35	1026へ	上俵真布地区に群生するウダイカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川ダケカンバ23	H2既設	6.50	1026と	上俵真布地区に群生するダケカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川エゾマツ24	H2既設	2.25	1070い	白金地区に群生するエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
		8.00	1070ぬ		
計		10.25			
旭川チョウセンヤマナラシ25	H2既設	1.98	1074ほ	白金地区に群生するチョウセンヤマナラシを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。	
		0.10	1074る		
		1.50	1074の		
計		3.58			
上川中部森林管理署					

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
林木遺傳資源	旭川シラカンバ ウダイカンバ39	H10既設	13.52	1073よ	白金地区に群生するシラカンバ、ウダイカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺傳資源とする。
	計		9.02	1073た	
	旭川シウリザクラ、 アズキナシ40	H13既設	36.31	304ほ	神居古潭地区に群生するシウリザクラ、アズキナシを保存し、主要林業樹種としての林木遺傳資源とする。
	計		4.80	304へ	
	計		41.11		
上川南部森林管理署					
伝資源保存林	旭川ダケカンバ、 ウダイカンバ26	H2既設	4.00	427い	上富良野地区に群生するダケカンバ、ウダイカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺傳資源とする。
	計		2.12	430は	
	旭川トドマツ、 アカエゾマツ27	H2既設	10.70	1082い	金山地区に群生するトドマツ、アカエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺傳資源とする。
	旭川ハリギリ、キハダ、 イヌエンジュ28A	H2既設	4.40	1090へ	金山地区に群生するハリギリ、キハダ、イヌエンジュを保存し、主要林業樹種としての林木遺傳資源とする。
	旭川ハリギリ、キハダ、 イヌエンジュ28B	H2既設	1.15	101い	金山地区に群生するハリギリ、キハダ、イヌエンジュを保存し、主要林業樹種としての林木遺傳資源とする。
森林計画区計		15箇所	262.79		
上川中部森林管理署					
植物群落保護林	十勝岳泥流 保護林	S50既設	253.53	別表参照	大正15年の十勝岳爆発による泥流跡地に生立した天然樹木等の保護を図り、学術研究に資する。
	小松原 保護林	S50既設	37.17	別表参照	安政年間の爆発による泥流跡地に生立した天然樹木等の保護を図り、学術研究に資する。
	大雪原生林 保護林	S45既設	526.69	別表参照	大雪山系石狩川源流部の代表的な原生林で、学術研究に資する。
	大雪山系高山帯 保護林	S50既設	1,340.49	別表参照	大雪山系高山帯及びこれに続く亜寒帯林の植物群落を保護し、学術研究に資する。
	上川南部森林管理署				
保護林	夕張岳高山植物 保護林	H10既設	483.53	別表参照	夕張岳周辺は、蛇紋岩、かんらん岩など超塩基性岩帯で、ユウバリコザクラ、ユウバリソウ、シソバキスミレ等の固有種も多く、植物学的にも貴重であり学術研究に資する。
	森林計画区計		5箇所	2,641.41	
上川南部森林管理署					
生息地保護林	シマフクロウ 生息地保護林	H16既設	1,097.52	非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。
	森林計画区計		1箇所	1,097.52	
森林計画区合計		23箇所	50,617.64		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新設・ 既設	延長	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
上川南部森林管理署					
大雪・日高 緑の回廊	既設	52km	5,520.61	別表 参照	野生動植物の移動経路を確保し、 生息・生育地の拡大と相互交流を促 すため、大雪山森林生態系保護地域 と日高山脈森林生態系保護地域を結 ぶ緑の回廊である。
森林計画区合計	1箇所	52km	5,520.61		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
上川中部森林管理署									
自然休養林	嵐山・神居自然休養林	既設	1,053.03	別表参照	石狩川兩岸の優れた景勝地と一体となった森林で、外国樹種見本林、自然教育の場、保健文化の面で寄与している。	単複天	園地外 (旭川市) 記念文学館 (民間)	歩道延長 4752m 外	「*」は、保健機能森林に該当する森林
	(自然観察教育ゾーン)		14.80						
	(風景ゾーン)		249.81						
	*(風致探勝ゾーン)		788.42						
自然休養林	白金自然休養林	既設	946.10	別表参照	森林を主体とした風景の優れている地域であり、自然休養の場として自然探勝利用等、国民の福祉厚生増進に寄与している。	複天	車道外 (北海道) (美瑛町) (環境省) スキー場外 (民間)	歩道延長 5600m 外	「*」は、保健機能森林に該当する森林
	(自然観察教育ゾーン)		147.51						
	(森林スポーツゾーン)		318.76						
	(野外スポーツゾーン)		23.50						
	*(風致探勝ゾーン)		456.33						
森林計画区計		2箇所	1,999.13						
上川中部森林管理署									
自然観察	台場野鳥愛護活動林	既設	45.75	別表参照	旭川市の近郊にあり、小中学生の自然科学教育の場として地域振興に寄与している。	単複天	歩道外 (旭川市)		保健機能森林に該当する森林
	中里野鳥愛護活動林	既設	2.00	別表参照	地元小中学生の自然教育の場として寄与している。	天	巣箱 (愛別町)		
	愛山野鳥愛護活動林	既設	1.10	別表参照	地元小中学生の自然教育の場として寄与している。	天	巣箱 (愛別町)		
	富沢野鳥愛護活動林	既設	4.60	別表参照	地元小中学生の自然教育の場として寄与している。	天	歩道外 (旭川市)		
上川南部森林管理署									
教育林	下金山野鳥愛護活動林	既設	3.18	別表参照	下金山の下金山小学校に近接し、野鳥の保護観察地。	天	歩道外 (南富良野町)		
	金山野鳥愛護活動林	既設	1.25	別表参照	金山の金山小学校に近接し、野鳥の保護観察地。	天	歩道外 (南富良野町)		
	北落合野鳥愛護活動林	既設	0.80	別表参照	この地方の特色を持った森林で野鳥の種類も多く、自然観察の場として親しまれている。	天	歩道外 (南富良野町)		
	森林計画区計		7箇所	58.68					
上川中部森林管理署									
スポーツ林	笹の平森林スポーツ林	既設	172.09	別表参照	国民の健康の維持増進に寄与している。	天			保健機能森林に該当する森林

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
森 林 ス ポ ー ツ 林	上川中部森林管理署								
	東川青少年野営場	既設	5.30	別表参照	亜高山帯に存する野営場として青少年のスポーツの場として適している。	天	管理舎外 (東川町)		保健機能森林に該当する森林
	上川南部森林管理署								
	つつしが丘野営場	既設	61.36	別表参照	山部市街から南西約3kmの芦別岳の麓に位置し、自然に親しみながら、情操教育の場として登山、ハイキングの基地として広く利用されている。	複天 間伐 0.42 ha	園地外 (富良野市)		保健機能森林に該当する森林
	森林計画区計	3箇所	238.75						
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	上川中部森林管理署								
	カムイスキーリンクス	既設	188.70	別表参照	良質な雪と長期間利用できるスキー場として、国民の健康の維持増進に寄与している。	複天	ゲレンデ外 (民間)		
	上川南部森林管理署								
	三段山スキー場	既設	22.50	別表参照	十勝岳温泉と白金温泉との中間にあり、雄大な十勝岳風景林を背景に山岳スキー場として広く親しまれている。	天			
	富良野スキー場	既設	456.02	別表参照	富良野市から西へ約2kmの北の峰北側に位置し、交通の便も良く、各コースとも緩急に富み、各種大会が開催されるなど初心者から上級者まで広く親しまれている。	複天	ゲレンデ外 (民間)		
	占冠スキー場	既設	4.70	別表参照	隣接する民有地と併せて、スキー場として地元住民に利用されている。		ゲレンデ外 (占冠村)		
	南富良野スキー場	既設	9.80	別表参照	幾寅市街地に近く初中級者向きコースとして町民に親しまれている。	複天	ゲレンデ外 (南富良野町)		
	石勝高原トマム山スキー場	既設	1,623.01	別表参照	一大リゾートとして中核をなすスキー場で本州方面はもとより海外にも知られている。	複天 間伐 4.50 ha	ゲレンデ外 (民間)		
	森林計画区計	6箇所	2,304.73						

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風	上川中部森林管理署									
	上川浮島風景林	既設	601.57	別表参照	高層湿原、浮島、高山植物等の優れた景観が広く親しまれている。	複天	歩道外(国)	歩道延長2000m外		
	沼の原風景林	既設	473.60	別表参照	石狩川源流部の溶岩台地で大小の沼が散在し、高山植物が多く登山者に親しまれている。	複天	自動車道外(国)	自動車道延長1623m外		
	赤岳風景林	既設	176.05	別表参照	大雪山連峰の主峰「赤岳」の雄大な山岳景観、豊富な高山植物、天然記念物のウスバキチョウ等が広く親しまれている。	天	観光道路外(北海道) 公衆便所(上川町)	歩道延長6500m外		
	半面山風景林	既設	494.50	別表参照	嵐山、神居自然休養林に続く景勝で、保健文化の面で寄与している。	複天	歩道(国)	歩道延長5000m		
	江丹別憩の森風景林	既設	157.51	別表参照	江丹別地域の憩いの場として保健的な面で寄与している。	複天				
景	上川南部森林管理署									
	双珠別湖風景林	既設	427.07	別表参照	地元住民の森林浴の場として親しまれている。	天		車道延長8000m		
	赤岩風景林	既設	60.83	別表参照	村立自然公園が隣接した森林で自然景観に優れ地元住民に森林浴の場として親しまれている。	天	園地外(占冠村)	林道延長400m		
	森林計画区計	7箇所	2,391.13							
風	上川中部森林管理署									
	層雲峡風致探勝林	既設	1,096.13	別表参照	大雪山国立公園の表玄関として広く知られている。大小の滝、温泉等のレクリエーション資源を有し、黒岳に向けてのロープウェイ、リフトも設置されており登山基地としても利用者が多い。	複天	野営場外(北海道) スキー場(上川町) 索道施設外(民間)	歩道延長1500m外	保健機能森林に該当する森林	
	高原温泉風致探勝林	既設	508.97	別表参照	大雪山系の温泉のうち最も高い標高にあり、秋の紅葉等優れた自然景観は広く親しまれている。	天	歩道外(北海道) 自動車道外(上川町) ホテル外(民間)	歩道延長800m外	保健機能森林に該当する森林	
探勝林										

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風	上川中部森林管理署									
	天人峡風致探勝林	既設	492.98	別表参照	滝、溪谷、森林とが一体となって優れた自然美を構成しており全国的に知られている。	複天	駐車場外(北海道)(東川町)旅館外(民間)		保健機能森林に該当する森林	
致	上川南部森林管理署									
	旭岳風致探勝林	既設	277.39	別表参照	山岳地帯の景勝地として、全国的に知られている。	天	園地外(東川町)(民間)保養所外(民間)	駐車場0.10ha	保健機能森林に該当する森林	
探	上川南部森林管理署									
	十勝岳風致探勝林	既設	206.31	別表参照	大雪山国立公園内にあり、上部は高山植物群、下部はダケカンバ、トドマツ等の天然林で雄大な自然景観は多くの人に親しまれている。	複天	歩道外(北海道)(上富良野町)宿泊所外(上富良野町)旅館外(民間)		保健機能森林に該当する森林	
勝	上川南部森林管理署									
	金山湖風致探勝林	既設	900.49	別表参照	湛水面積920haの金山湖の湖畔にあり、ミズナラ、イタヤ等の広葉樹の豊富な森林と湖水が一体となって優れた自然景観をなしている。また、夕張岳の眺望が優れ、接続する民有地と併せてサイクリング等の施設を有し、レクリエーション地域を形成しており、ハイキング等で多くの人を訪れている。	複天	車道外(国)	車道延長11000m		
林	上川南部森林管理署									
	森林計画区計	6箇所	3,482.27							
森林計画区合計		31箇所	10,474.69							

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単=育成単層林へ導くための施業 複=育成複層林へ導くための施業
天=天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
遺 伝 子 保 存 林	上川中部森林管理署				
	クロエゾマツ白金A	昭和48年	4.00	1003い	林木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。
	シラカバ山部	昭和50年	4.25	1027ぬ	
	アカエゾマツ 上富良野A	昭和50年	4.94	1044ぬ	
	アカエゾマツ 上富良野B	昭和50年	4.94	1044る	
	クロエゾマツ白金B	昭和48年	3.91	1045ほ	
	アカエゾマツ白金A	昭和50年	5.19	1045り	
	アカエゾマツ白金B	昭和50年	4.87	1045む	
	ケヤマハンノキ白金	昭和50年	2.32	1061ろ	
	アカエゾマツ大雪A	昭和51年	4.85	2104い	
	アカエゾマツ大雪B	昭和51年	4.38	2104は	
	アカエゾマツ 層雲峡A・B	昭和49年	13.12	2114ろ	
	上川南部森林管理署				
トドマツ落合	昭和48年	5.86	132か	林木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。	
エゾマツ占冠A・B	昭和49年	10.24	230ろ		
クロエゾマツ山部	昭和48年	2.36	380い		
アカエゾマツ山部B	昭和49年	3.28	380ろ		
アカエゾマツ山部A	昭和49年	6.32	380は		
トドマツ山部	昭和47年	5.05	390ろ		
ウダイカンバ占冠	昭和50年	4.55	1120い		
森 林 計 画 区 計	18箇所	94.43			
検 定 林	上川中部森林管理署				
	北適応旭5号 試植検定林	昭和54年	0.98	108と	試植検定林は、外国からの導入樹種や在来品種の林分特性、立地適応性等を検定する林分である。 地域差検定林は、一群の精英樹系統種苗が、揃って良好な生長を示す地域を判定し、種苗の配布区域を定めるための林分である。
	北異郷土旭4号 試植検定林	昭和39年	3.40	234い	
	北異郷土旭2号 試植検定林	昭和38年	2.40	234ろ	
	北異郷土旭12号 試植検定林	昭和41年	8.85	264は	
	北異郷土旭14号 試植検定林	昭和42年	5.61	264に	
	北異郷土旭5号 試植検定林	昭和39年	1.20	265ほ	
	北異郷土旭11号 試植検定林	昭和41年	4.53	2143い	
	北異郷土旭8号 試植検定林	昭和40年	3.19	2143ろ	
	北旭15号 地域差検定林	平成4年	7.63	1055れ	
森 林 計 画 区 計	9箇所	37.79			
施 業 指 標 林	上川中部森林管理署				
	エゾマツ長伐期 施業指標林	平成11年	3.10	109に	森林を健全な状態に育成し、長期間に渡って良好な森林の状態を維持させる森林施業を確立する。
	カラマツ長伐期 施業指標林	平成11年	3.00	141ろ	
	トウヒ長伐期 施業指標林	平成11年	36.44	301ろ	
			39.90	302ろ	
計		76.34			
トドマツ長伐期 施業指標林	平成11年	3.90	302ほ		

種類	名 称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	上川中部森林管理署				
	広葉樹二次林 長伐期施業指標林	昭和46年	67.35	302ち	森林を健全な状態に育成し、長期間に渡って良好な森林の状態を維持させる森林施業を確立する。
	択伐施業指標林	昭和45年	4.24	2330れ	天然更新補助作業により、漸伐林型へと誘導する手法を確立する。
	上川南部森林管理署				
	金山湖畔 複層林施業指標林	昭和46年	0.40	1083は	地域別に目標径級を定め、複層林型へと誘導する手法を確立する。
			3.00	1083に	
			0.48	1083ほ	
			0.80	1083へ	
			0.16	1083と	
			0.35	1083ち	
			0.80	1083り	
			0.20	1083ぬ	
			0.38	1083る	
			0.94	1083わ	
			0.15	1083か	
			6.61	1083よ	
			0.20	1083た	
			0.29	1083れ	
			1.19	1083ら	
1.55	1083う				
11.66	1083の				
1.50	1083お				
0.02	1083ト				
計		30.68			
森林計画区計		7箇所	188.61		
展 示 林	上川中部森林管理署（上川南部森林管理署）				
	外国樹種見本林	明治31年	13.95	別表参照	明治31年に北海道における外国樹種の適応試験地として設定する。
	カンバ二次林施業林	昭和35年	3.00	1026い	昭和35年にカンバ二次林の林分構造を究明する試験地に設定されたが、現在は、広葉樹施業の展示林として設定する。
	十勝岳泥流跡植生林	(上川中部) 昭和22年	0.09	1073に	昭和22年に十勝岳爆発に伴う泥流により、裸地化した林地の森林植生の回復状況等を得る試験地に設定したが、現在は、森林形成の過程を展示林として設定する。
			(上川南部) 昭和22年	0.08	
		0.20		432と	
		0.20	432ち		
昭和31年	0.20	432り			
計		0.97			
十勝岳泥流 カンバ二次林	平成元年	0.52	1073め	十勝岳爆発63年後の森林植生と森林形成を展示林として設定する。	
森林計画区計		4箇所	18.44		
試 験 地	上川中部森林管理署				
	大雪原生林植物群落 保護林調査試験地	平成11年	96.24	2254い	原生林の更新動態の調査試験地である。※試験地設定面積は、うち2.00ha。
			139.70	2260い	
	計		235.94		
伊の沢カラマツ 人工林収穫試験地	昭和42年	1.26	262い	収穫試験施行要綱に基づいた試験地である。	
神居山アカエゾマツ 人工林収穫試験地	平成11年	1.10	291ら		

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考		
試 験 地	上川中部森林管理署						
	上川トドマツ 産地試験地	昭和42年	4.47	2141い	天然生林から採取した種子の産地別特性を明らかにする。		
	大雪施業試験地	昭和49年	5.00	2240は	山取り苗木を活用した天然更新補助作業により、漸伐林型へと誘導する手法を確立する。		
	大雪植生調査試験地		昭和30年	0.25	2260ろ	風害跡地の植生変化を明らかにする。	
				0.25	2276い		
				0.25	2290い		
				0.25	2290ろ		
				0.25	2320い		
	計		1.50				
	林冠破壊による 土壌の変化試験地		昭和31年	0.25	2260ろ	風害跡地の植生変化を明らかにする。	
				0.25	2276い		
				0.25	2290い		
				0.25	2290ろ		
				0.25	2320い		
計		1.50					
上川南部森林管理署							
北幾寅カラマツ 人工林収穫試験地	昭和41年	1.10	12い	428い	収穫試験施行要綱に基づいた試験地である。		
						上富良野トドマツ 人工林収穫試験地	昭和38年
						幾寅天然林 成長量固定試験地	平成13年
森 林 計 画 区 計		10箇所	256.97				
モ デ ル 林	上川南部森林管理署						
	水土保全モデル林	平成12年	26.03	63は			
森 林 計 画 区 計		1箇所	26.03				
母 樹 林	上川中部森林管理署						
	林業種苗法に基づく 特別母樹・特別母樹林	昭和49年	4.45	2314は	アカエゾマツ（特別母樹林）		
	林業種苗法に基づく 育種又は普通母樹・母樹林	平成20年	21.32	362イ	トドマツ(10.16ha)、耐凍トドマツ(1.39ha)、雑種カラマツ(9.60ha) (育種母樹林)		
		平成20年	7.12	2148イ	アカエゾマツ(6.82ha) (育種母樹林)		
森 林 計 画 区 計		3箇所	32.89				
森 林 計 画 区 合 計		52箇所	655.16				

注) 備考欄の「収穫試験地施行要綱」とは、現行あるいは将来予想される施業法によって施業した場合の成長量、及び収穫量その他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する目的をもって設定した固定試験地である。

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
上川中部森林管理署		
304 は	ふれあいの森 (親と子協働の森)	事業主体：社団法人北海道森と緑の会 協定面積：0.19ha (区域面積2.12ha)
353 ぬ	ふれあいの森 (忠別川上流部ふれあいの森)	事業主体：CCC自然・文化創造工場北海道事業部 協定面積：2.00ha (区域面積2.00ha)
上川南部森林管理署		
246 ら	ふれあいの森 (トマムふれあいの森)	事業主体：占冠村森林人林業グループ 協定面積：0.69ha (区域面積0.69ha)
246 む	ふれあいの森 (鷓川源流部)	事業主体：占冠村森林人林業グループ 協定面積：0.70ha (区域面積2.05ha)
246 む	ふれあいの森 (お魚を殖やす森)	事業主体：占冠村森林人林業グループ 協定面積：1.35ha (区域面積2.05ha)
森林計画区計		協定面積：4.93ha (区域面積8.91ha)
上川中部森林管理署		
266 は、に、ほ、へ と、ち、た、れ	遊々の森 (美遊の森)	事業主体：旭川市立富沢小学校 協定面積：35.34ha (区域面積47.60ha)
1071 ろ、に、と、口	遊々の森 (大雪青少年交流の森)	事業主体：独立行政法人 国立青少年教育 振興機構 国立大雪青少年交流の家 協定面積：69.63ha (区域面積69.63ha)
2139 い、ろ、ち、り ぬ、る、よ、れ	遊々の森 (上小の森「エミーナ」)	事業主体：上川町立上川小学校 協定面積：75.21ha (区域面積75.21ha)
上川南部森林管理署		
369 ほ、わ、ね、な ら、お 370 と、ち、り 371 と	遊々の森 (太陽の里・ふれあいの森)	事業主体：富良野市、富良野生涯学習センター 協定面積：50.78ha (区域面積103.09ha)
1267 ろ 1268 い	遊々の森 (自然体感ニニウの森)	事業主体：占冠村 協定面積：6.94ha (区域面積253.50ha)
森林計画区計		協定面積：237.90ha (区域面積549.03ha)
上川中部森林管理署		
301 つ、ね 302 て	社会貢献の森 (「旭川カムイの森」森 林整備協定等の活動 に関する協定)	事業主体：社団法人旭川林業土木協会 協定面積：6.00ha (区域面積6.00ha)
森林計画区計		協定面積：6.00ha (区域面積6.00ha)
森林計画区合計		協定面積：248.83ha (区域面積563.94ha)

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 小 班)	面 積 (h a)	連携した施業 の内容	備 考
上川中部森林管理署				
上川町森林共同施業団地 越路・豊原・共進地区森林整備推進協定	民	上川町：1～7、10～13 ニチモク林産：8	1,045	協定相手： 上川町、 ニチモク林産北海道
	国	2001～2038	5,178	
上川南部森林管理署				
南富良野町森林共同施業団地 幾寅・落合地区森林整備推進協定	民	13林班1～6、8、28、30～34 36、38、39～41、59、60、 62～64、134～136、138、400 402、403小班 14林班38、401～408、411～ 429、441～443、451～453 475小班 26林班350～353、355～359、 450小班 27林班2～43小班 56林班5、30～32、81、400、 401小班 64林班	854	協定相手： 南富良野町
	国	114～116、118～125	2,221	
森林計画区合計	民		1,899	2箇所
	国		7,399	
	計		9,298	